

比較文化学専攻 博士前期課程

*ディプロマ・ポリシー

大学院3ポリシーのもと、文学研究科では、人間の精神活動や社会活動への深い洞察力と国際的視野をもって、国際社会や地域社会に貢献する人格を養成します。比較文化学専攻では、比較文化的な知識・教養と思考力・判断力を備え、それをさまざまなかたちで社会に活かすことのできる人格を養成します。

そのような人格に必要な以下の能力を修得し、博士前期課程の修了要件を満たした人に対して修士（比較文化学）の学位を授与します。修了の認定にあたっては、学位論文の公開審査をうけ、最終試験に合格することが求められます。

- 1 人文社会科学諸分野の専門領域における高度の知識・技能と、学際的・総合的な知性を備え、研究倫理を遵守しつつ明確な問題意識をもって研究課題を探求する能力
- 2 広い視野と豊かな学識を備え、社会のさまざまな領域において専門的知識・技能を活かした貢献のできる能力
- 3 母語及び外国語の高い運用能力とコミュニケーション能力を備え、多様な価値観をもつ他者と共感・共生し、また仲介する能力